

境港市社会教育委員会議 会議録

平成 29 年 8 月 30 日

境港市社会教育委員会議（平成 29 年 8 月 30 日委員会議 会議録）

召集年月日 平成 29 年 8 月 30 日 15 時 00 分
召集場所 中央公民館
開 会 15 時 00 分
出席委員 植田 建造 遠藤 恵子 遠藤 恵裕 梶川恵美子
門脇規矩子 門脇 哲也 金津 唯可 渋谷 博子
田崎 昌宏 徳永 哲郎 畠山 陽子 増岡 茂
松本 昭児
説明のために出席した者
教育長 松本 敏浩
生涯学習課長 黒崎 享
生涯学習係長 濱田 潤
文化体育係長 竹内 勝
説明以外の出席者
文化体育係主任 竹本 夏樹
傍 聴 者 なし
会 議 書 記 濱田 潤
報 告 事 項 （1）平成 29 年度社会教育関係事業概要について
（2）その他
協 議 事 項 教育委員会の点検評価について
（社会教育事業）
閉 会 16 時 40 分

(15:00 開会)

- 生涯学習課長 開会
教育長 挨拶
生涯学習課 報告 (平成 29 年度社会教育関係事業概要について)
委員
- 内容の質問ではないですが、私は中浜地区に住んでいますが、中浜公民館には館内放送の設備がありません。以前から、主事さんには「不便じゃないですか」、「何かあった時はどうされるんですか」と聞きますが、予算もありますのでいつも終わってしまいます。普段の生活には、さほど支障はないと思いますが、公運審にも入ってまして、公民館まつりの時はいつも館内放送が使えるといいなと思うのが一つと何か災害・火事があった時にはほぼ平日の昼間公民館を利用されているのは年配の方々に、その方々はいくつかの部屋で活動されてまして、その方に何かあった時にお知らせすることは、主事さんや館長さんが走り回るのも限界がありますし、正確にお伝えすることが出来ないと思います。そういうことがあった場合どういう風に今の状況では対応をすればいいのか。どういう風に考えてらっしゃるのか。今後、館内放送をつける予算を検討出来るのかどうか教えていただきたい。
- 生涯学習課 館内放送につきましては、市内の公民館には全てありません。そういった要望をいただきましたので検討をしないといけないと思いますが、たまたま公民館にいました時に地震がありまして、その時は各部屋で活動をされていましたがみんなで走りましてお伝えしました。また、改修工事が終わったところでして、難しいと思いますが、改修工事にあたりましては、皆様の声を聞いて、出来るものを実現していきました。改修当時の要望にあがっていませんでしたので、改修工事には含まれていませんが、必要性を考えながら今後の検討とさせていただきたいと思います。
- 生涯学習課長 どれくらい経費がかかるか、予算的なこともありますので、どれくらいかければ設備がつけれるのか確認が必要だと思います。
- 委員 全室にマイクをつけるのか、各階に何箇所かつけるのか、方法はいくつかあると思いますが、公民館では皆さん楽しく活動されてますが、こんな状況で何かあれば犠牲者がでるといつも感じています。
- 委員 4 ページの 6 番、日中友好交流都市中学生卓球交歓大会について、20 年くらい前に息子が行っています。高校生でも心配でしたが、いつから中学生になったのですか。
- 生涯学習課 15 年前に私行ってます。15 年前は中学生でした。その前の市役所に残っている記録を見ますと、大会の概要が少し違いまして、その時は確かに高校生が参加していました。

生涯学習課長 実質 8 月 3 日の朝にでて、8 月 8 日の夜に帰ってきています。大会自体は 8 月 4 日・5 日・6 日です。

委員 1 ページの青少年育成市民会議。これは今までもあったんですね。昨年度の資料には載っていませんでしたので。

生涯学習課 今までもありました。

委員 3 ページの市民会館の解体ですが、これは設計に 1,400 万円かかるのですか。

生涯学習課長 実際に契約しましたが、1,100 万円ぐらいでした。

施設自体が大きいですし、ホールや会議棟などがありますので少し高いのではと思います。

せっかく解体の話が出ましたので、本日会議を行っている市民会館会議棟の会議室が来年から使えなくなる中で、例えば今毎週中央公民館を使っておられるコーラスのグループはどうなるのかと話があります。事務局では、公民館は様々な事業が行われていますが、その空いた時間に今中央公民館を使用している団体が都合のいい時間に合わせてもらって入ってもらうことをベースに考えています。毎週使用しているところはそのように考えていますし、それ以外で例えば文化協会の団体で展示をする場合には海とくらしの史料館を利用させていただくなどの調整を早急に利用団体と話をさせていただいて、解体から新しい施設が出来るまで最低 4 年がかかりますので、その間の皆様の文化活動に極力支障がないように出来たらと模索しているところです。そうは言いますが、これだけ大きい施設が急に使えなくなるということでそれを全て公民館で吸収することは出来ないと思いますので、その辺りのこともそれぞれの団体の方とお話をしながら団体の活動が滞らないように出来たらと利用団体の方と調整していきたいと考えております。

委員 ボランティアセンターも解体されるんですね。

生涯学習課長 それに代わる施設を確保したいと考えています。

委員 なくならないですよ。

生涯学習課長 センター自体条例で謳ってありますので、確保したいと考えています。

委員 最終的に市民会館が出来るのは。

生涯学習課長 平成 34 年くらいです。平成 30 年度に解体しまして、平成 31 年度から最低 3 年がかかります。これが最短となります。後は、防衛省の補助事業を活用して実施しますので、防衛省も 3 年ということで本省と話をいただいています。ただ、決定ではありませんので、少なくとも工事で 3 年かかると言われています。補助との関係もうまくいけば最短で解体と工事をあわせて 4 年かかるといって平成 34 年。これを目指した

いと考えています。

委員

私の娘は1番上の21歳と高校生ですが、その子たちが幼稚園の時に本日もお越しですが親と子どもの劇場に会員として入っていました。その頃と比べますと子どもの数も減っているとは思いますが、子ども達が小さい時は何年かに1回市民会館で大きな親子で観劇出来るような演劇や音楽がありました。それが会員の減少とともに予算のこともありますので、私も執行部にいましたのであまり無理は言えないという感じで参加していました。どうしても予算とか会員数で大きな催し物は出来ないなどは感じていました。今、子ども達がスポーツも頑張っていて、土日に観劇することが出来ない子どもが確かに増えています。小さい時、小学校や中学校の時に親子で観劇するという経験をさせてやりたいなと思っていました、出来るだけ私は境港で見なければ米子まで連れて行ったりということでも出来るだけしようとやってきました。米子まで行きますと観劇は子ども料金がありませんので、家族みんなで行こうと思いますと、どうしてもチケット代が万単位となります。そうしますと、そこでお母さんは躊躇されると思います。境港市で子どもが小さいころ行われていた時は市の補助があったんだと思うんですが、家族4人で見ても出せない金額でなく観劇が出来たんだと思います。毎年は無理だとは思いますが、そのための積み立てを毎年していただいて、例えば幼稚園から小学校の間にその子が成長する過程で1回ないし2回くらい家族で観劇出来る機会を親と子どもの劇場さんだけでは無理ですので、教育委員会にも協力していただいて、予算をつけていただいて、親子3人・4人でも観劇出来る価格で、体験させてもらう機会を作っていただきたいと思います。大きくなれば、子ども達だけでも出かけて行きますし、幼稚園の頃は必ず親子で出かけます。小学校や中学校になりますと1人で行動出来るようになりますので、親子の接点が当然少なくなってくる。その時期に親子と一緒に芸術鑑賞をする機会が大事だと思います。小学校や中学校の学校単位で子ども達だけで鑑賞させてくださっていますので、とてもありがたいと思い手紙を拝見していました。親子で一緒に観る・聞くという機会が観ている時・聞いている時、また、観た後・聞いた後の報告。親子で経験が出来る子と出来ない子では成長過程で違うのかなという気がします。何年かに1回でもいいですので、新しい市民会館が出来ますので、是非そこを使って親子での機会を設けていただけたらありがたいと思います。

教育長

ありがとうございます。新しいホール・複合施設が出来た時に市民の方が色んな活動の出来るような事業を組んでいかないといけないかなと考えています。どこが主催するかは色々考えればいいわけですが、ホール棟

が常に何かに使われているようなそのような施設になればいいなと思っています。時には図書館が観劇を企画するというような機会も当然あると思います。また、これからの運営計画や図書館の中での話で意見をいただいたことを議論していきたいと思います。

委員 3 ページの市史編さん事業ですが、市史編さん・民族芸能・伝統行事に関する調査業務等にかかる経費とありますが、これとは関係のない質問ですが、市史は何年に1回更新されるんですか。

生涯学習課 10年に1回が基本となります。その間に写真集等も出しています。

市史には2種類ありまして、総合的な市の様々な分野を網羅した境港市史と先ほど申しました10年に1回と言いますのは、主に境港市の行政の歩みを記したものです。その中には、一部には文化財等のことも記載がありますが、主な目的は境港市の行政の10年間となります。1番大きな境港市史につきましては、何年に1回というのはありません。

委員 生涯学習課に社会教育主事が配置されていると思いますが、社会教育主事さんが社会教育委員さんの会とどの様に連携をして、取り組みをされていくのかしっかりと考えていただきたいなと思います。先ほどのお話しにしても、社会教育主事さんがファシリテーター役になって、社会教育委員の活動を支援しましょうとなると思います。社会教育主事さんの活用について具体的な考えをお聞かせいただきたい。

生涯学習課長 生涯学習係ではなく、文化体育係の職員で、社会教育主事の資格を持っている職員がいます。本日も出席しています。公民館長会に出たりと積極的に色んなところに出かけて行ってやっていますので、私は資格を持っていませんのでアドバイスしてもらいながら、社会教育の分野で活かしていけたらという風に思っています。

生涯学習課 私、今年度の4月から社会教育主事に任命されております。大学で教育学部に在籍して、社会教育の関係の勉強をしていました。昨年1年間、文化体育係で体育の業務をしていましたので、任命される資格を得て、社会教育主事に任命されました。基本的に文化体育係の体育担当としておりますので、体育の分野を中心にさせてはいただいておりますが、機会をいただけて、少しずつ社会教育の広いところで顔をださせていただいたり、機会がありましたらファシリテーション的な役割も将来的には担っていただけたらいいなと考えております。特に社会教育主事と名前もついておりますので社会教育委員さんとは今後綿密に様々なことが出来たらと考えておりますので、よろしく願いいたします。

生涯学習課長 今まで社会教育主事の資格を取った職員は大体異動で他の部署に異動するのが定番でした。役所入ってからとった職員は、以前は夏の間2ヶ

月くらい岡山大学等で研修を受けて資格を取得するといパターンの職員がいましたが、大体異動でいなくなるというのが定番でした。大学で取っていることに加えて業務に携わったことで資格を付与されるという珍しいパターンだと思っています。現在、係が違いますが同じ課ですので、こういった場面に積極的に出ていただいて色々勉強していただきたいと考えておりますので、よろしくお願いします。

委員

中央テニスコートの利用回数が、平成 27 年度に比べて平成 28 年度が 120 回くらい少ない。このことは、渡の市長と語る会ででましたが、行政側からすると、建物を貸してやってるという思いが若干ある。建物を市民がいかにか上手に使えるかということをも市民側にたってしないと、120 回少なくなるという数字に表れる。本庁におられる方はそういったことは全然ないが、外部委託したところの職員や本庁でない外の職員。保育所・学校の駐車場にしてもそうだが、民間企業ならああいった使い方はしない。本庁は、職員が別のところに土地を買って駐車している。来館される方も使っている。そうでないところもある。本庁から離れたところは、自分たちが駐車して、来た人がとめられないということもあります。市民の為の施設である。特に外部委託した団体には十分指導していただきたいと思いません。

委員

1 ページの成人式記念事業は本年度の予定の日が記入されている。3 ページの読書活動推進大会にも本年度の予定が記入されていると良かった。

委員

文化財の冊子が出来ましたよね。社会教育委員皆さんに配られましたか。

生涯学習課長

希望者にしか配っていません。今後、皆さんに配りたいと思います。

非常に評判が良くて、公民館には置いています。本日の資料に文化財の資料もつけていますので。

生涯学習課

説明 (教育委員会の点検評価について)

委員

報告を受けましたが、協議と次第になっていますが、これはどんなふうにするんですか。例えば、これを協議ということですので方向性を出さないといけないんですか。ただ、これをこういう風に評価しました見ておいてくださいならば、報告です。この使い方は。

生涯学習課長

毎年、点検・評価を協議として社会教育委員会に挙げています。しかし、報告という形にしないとおかしいのかなと担当と話をしていました。これは、議会に出して報告しています。協議とするならば、報告の形にしたものを社会教育委員の皆様にお諮りして、議会に出してもいいですかとお伺いをたてるのが協議だと思います。現在は、5 月の定例教育委員会にだし、6 月に議会に報告します。だから、報告という形にするべきだと思います。

委員 社会教育委員会議は報告を聞いていても意味がないと思います。長年委員をしていますが、今回初めて社会教育委員についてという資料が出ました。今までは、年の初めに会議を開催しこういった事業を行いましたという報告でした。大切なことは、先日開催されましたコミュニティスクールに関する研修会等に出席いただいて勉強していただいて、社会教育委員会議で発言いただくことだと思います。

委員 1 ページの成果と効果の中にボランティア登録人数が大幅に増加したとあり、特に見守り隊の部分が増えたとありますが、他にも色んな分野でのボランティア活動があると思います。学習支援や施設の面だとかその辺りの割合、どのくらいの人数がいるのかお聞きしたいと思います。

生涯学習課 外江小学校では茶道の指導・花の植栽、境小学校では囲碁の指導、誠道小学校では昔遊びの指導など様々なところでボランティアの方にご協力をいただいています。人数的には、資料に挙げています 3 つが多いですがそれ以外のものについても各地区でご活躍いただいています。

委員 先ほど、委員がおっしゃったことに関連するんですが、これからコミュニティスクールに取り組みれていく中で、学校が地域のことをどれだけ知っているかということが子ども達の育ちの強みになります。地域の皆さんが学校の取り組みを知っている。共有、同じ方向で進んでいくということがまさにコミュニティスクールの効果だと思います。そういう意味で言いますと、この間の会の中で質問がたくさん出ましたが、学校の現場にいるとなかなかボランティアの必要性がまだ十分分かっていない人が多いと思います。ご存じのとおり学校は働き方の部分で問題になっているところが多い。それを働かされてるのではなくて、自分たちが率先してやっければ感じ取り方が違うんだという話もあります。実際、色んなことが目の前にあり、なかなかボランティアにお願いするというゆとりが感じられない。私も経験がありますが、ボランティアさんが入ってくださることで、現実子どもも生き生きした顔で授業が受けられますし、それから今まで環境整備に教員が向かっていた部分をボランティアの方がやってやるよという方が沢山おられるおかげで教員は教材研究に力が向けられたり、子どもとのふれあいの時間が増えたり、ものすごく重要な部分だと思います。去年・一昨年と人数を増やすというか色んなジャンルでお願いしています。例えば、陸上の指導で専門の方に少し来ていただいた。ポイントを学ぶそれだけでも教員は随分参考になりましたし、こういう人材は沢山おられると思います。だけど、各学校単位で区切られていて中々広がりが無い。それを市全体でコーディネートして下さる方があるわけですから、その方が市全体としてこういう人材がいるよと発信して頂いたり、あるいは学校の

方でこういう人が欲しいんだけどと言えたりするともっともっと社会教育と学校教育が一緒になって子どもを育てるという仕組みになると思っています。是非よろしくお願いします。

委員

学校側が何がしてほしいか出てきていない。学校側の目的がこれだ。それに対して事前協議を行う。そのところがないように思います。現在は、読み聞かせに来てください。行く方も自分勝手に本を選び読む。その辺りのことをコーディネーターが調整してほしいと思います。コーディネーターが職員会議に朝参加し、学校の目的を聞く。そして、目的にあうボランティアを探す。学校に行って担当の先生と打ち合わせをする。ここまで行わないと学校支援ボランティアがひろがらず効果が出てこないと思います。

教育長

境港市でコミュニティスクールに踏み切ろうと私の方で決断をさせていただきましたが、一つの狙いとして子ども達はこれからの地域を担っていく人材です。そういった人材を学校という狭い地域だけで、エリアだけで育てるということは限界かなと、私が学校現場にいる中で感じたところがあります。是非、地域の色んな力、人のお手伝いをいただきながら子ども達をもっと幅広く育てる必要があるなというのが一つあります。もう一方で、学校は先ほど委員のお話しにありましたように、最近非常に忙しくなりました、その忙しい理由も事務仕事と申しますか、そういったのが多くなりました。これは、説明責任という部分を学校に求められるようになりました。学校の中で、いじめがあり、不登校が増え、こういったところに学校は信頼出来ないという社会風潮が出来ました。学校は色んな部分で説明をする必要が出てきました。それに関わる事務仕事が増えてきています。そういったことで、本来子どもに関わる、本来教員が担わなくてはならない業務に集中出来ない。そういったものを、もう一度地域の方にお返し出来る部分はお返ししながら、あるいは、家庭の方と協力する部分は家庭とで、そういった必要があるだろう。ただ、システムがないとそれは出来ない。そういった時に、コミュニティスクールという事業を取り入れる中で、そういったシステムが構築されてもう少し組織的に・継続的に子どもの教育が出来るのではないかと。そういった願いを持って、コミュニティスクールを始めさせてもらいました。ただ、まだまだ初めての事業ですので皆様のご理解を得るには時間がかかると思います。先ほどのお話で、学校は地域の方々がこういった活動をされているのかを知らない。地域は、学校が今どんな願いを持っているのか知らない。これが現実だと思います。そういったものをお話し出来るような機会を作りながら、学校は地域に対して何が貢献出来るのか、地域は学校に対して何が貢献出来るのかといっ

たことが話あわれるようになると、この境港の教育って変わってくるかなと期待を持っています。雲南市の教育長は社会教育の力である。これが基盤であると言われました。そういった意味で社会教育委員の皆様方には、色々な意味でご意見をいただかないといけないかなと思っていますし、場合によっては色々なお手伝いをさせていただくこともあるかなと思っています。よろしくお願いします。

(16:40 閉会)